

PART II

■ フィールドワーク

Aグループ：中禅寺湖エリア

〈メンバー紹介〉

ネイチャーガイド	森田 孝道	日本
宇都宮大学学生（リーダー＊）	ウダーニ パーラスーリヤ	スリランカ
	テンクヌルイクラビンテイテンクハジジャム	マレーシア
	＊ヤン ハン	中国
	オム アムラ	カンボジア
	澤田 琴乃	日本
宇都宮大学	高橋 若菜（教員）	日本
	Bernadett Kiss（CMPS 研究員）	スウェーデン
	趙 敏（CMPS 研究員）	中国
国際交流協会	田野辺順也	日本
	笹沼みどり	日本
	馬場 和子	日本
	湯澤 亜弓（NCIA事務局）	日本

〈コース紹介〉

日光自然博物館	ガイドウォーク オーバーユース、水質問題、シカ問題、国立公園のあり方、地域の維持発展、観光の行方
華厳ノ滝	
日光自然博物館	
赤鳥居	
リッツカールトン前	
ZENリゾート前	
立木観音前	
歌が浜駐車場	
英国大使館別荘記念公園	
イタリア大使館別荘記念公園	
イタリア大使館別荘記念公園	

〈フィールドワークレポート〉

楊 寒 (ヤン ハン)

コロナ以来観光地に行くことが出来なかったから、少しでも旅行気分で行く今回のプロジェクトに参加しました。日光のすべてに詳しい森田さんと日光市の方々と共に中禅寺湖周辺を巡りました。美しい自然を満喫しながら、皆さんと一緒に持続可能な観光地づくりにあり方も考えました。

「万卷の書を読み、万里の道をゆく」というのは中国で昔から伝わることわざで、座学と共に広い世界に飛び出して様々な経験を積むことの大切さを説いた言葉です。自らの足で各地を旅行し、視野を広げ、見聞を広めなければいけません。これは「旅行」についての中国人の発想だと言えるかもしれません。中国人にとって、日本はとても人気がある観光地です。理由としては、距離的に近い、自然の景色が美しい、温泉を楽しめる、料理が美味しい、土産物がそろっている、社会秩序・治安も良い、サービスが良いなどがあげられます。今回のプロジェクトで、私たちのグループの外国人留学生と日本人学生と一緒に日本の自然環境を満喫できる美しい風景に加え、旧外国大使館別荘など、歴史・文化遺産を堪能しながら、日本国内外から奥日光を訪れた観光客を対象にインタビューを実施し、奥日光の観光資源と観光施設に対する彼らの評価と、彼らの奥日光観光への期待と、ほかのところにない奥日光ならではの独自の魅力、ニーズに合わせた持続可能な観光地づくりの可能性と課題について考えてみました。今回の活動を通して、私たちのグループは奥日光の交通問題に注目し、いくつ課題を取り上げました、奥日光の美しい風景を見て感動しましたが、その一方で、たくさんの車があることも印象に残りました。公共交通またEV車の利用が今後期待できます。こんなに美しい景色を、将来の世代に引き継いでいくことは、今を生きている私たちにとってとても重要な責務だと感じました。

調査をする中で大変多くの事を学び、そのあとのシンポジウムで、関係者の皆さんの貴重な話を聞きながら意見交換、私も大変勉強になりました。このような機会はあまりないため、大変貴重であり、景色を堪能しながら、学びもしました。コロナ終息したら、また奥日光にも観光に行きたいと思います。

